

協 議 会 だ よ り 第38号 (2013年1月1日)

発 行 越谷流通団地運営協議会

発行責任者 山崎由三郎

編集責任者 甲斐秀治

事務局 越谷市流通団地1丁目1番20号 協同組合 越谷卸センター

TEL 048-989-4111

新年のご挨拶

景気は『気』から強い気持ちで良い年に！ 越谷流通団地運営協議会会長 山崎 由三郎

新春を迎え、越谷流通団地運営協議会会員の皆様には、平成25年の輝かしい幕開けを健やかに迎えのこ
とと心よりお慶び申し上げます。

また、旧年中に賜りました当運営協議会に対する ひとかたならぬご支援並びにご協力を改めて 厚く御礼
を申し上げます。本年も倍旧のお引き立てを宜しくお願い申し上げます。



さて、昨年は、感動と興奮のオリンピックが盛況のうちに無
事終わり、我が国は史上最多のメダル数を獲得したことから、
しばらくはその余韻に浸り過ごせるものと思っておりましたが、
オリンピックの開催さえ当年の出来事と思えないような、
大変厳しい現実が次々と突き付けられ、戸惑っているのは私一
人ではないような気がいたします。アメリカはじめロシア、中
国、韓国でも新たな指導者のもと経済・雇用対策が見直されよ
うとしています。我が国も新年から新たな政権による運営に各
業種とも大きな期待を寄せているところですが、昨年11月に
実施され、財務省と内閣府から発表された景況感では、世界経
済の影響により、昨年から底となり当年からは製造業、非製造業
ともに緩やかながら持ち直すとの見通しが示されました。

今年の干支である巳は金運と強い生命力の象徴だといわれています。以前にもお話をしましたが、景気
は『気』からです。私たち企業人の気分が沈んだままでは景気回復基調に乗り切れません。今年こそとい
う力強い気持ちで新たな年を迎えたいと切望いたします。会員企業の皆様の益々のご発展と従事される社員の
皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

平成25年新春講演会と新年会開催のお知らせ

越谷流通団地運営協議会の新春講演会と会員の皆さんの新年顔合わせ・情報交流のための新年会を下記の
とおり開催します。多数の皆様のご出席をよろしく願います。

今回の講演会の講師は、大阪の町工場から、1台の電気自動車がデビューした。経験ゼロ！知識ゼロ！セ
ンスゼロ！あるのは“夢”と“やる気”だけ。資金不足、時間との戦い、仁義なきデザイナーとの戦い…。
次々と難題が降りかかる。今回は、難題を乗り越えてオリジナル電気自動車“Meguru（環）”の開発秘話や
量産に向けた新プロジェクトなど、皆様に“パワーがめぐる”社長奮闘記を講演いただきます。きっと興味
ある面白いお話が聞けるでしょう。団地内の皆様以外に本社の方々にも声をかけていただき、多くの皆様
のご出席をお願いします。

— 開 催 案 内 —

日 時： 平成25年2月5日（火） 午後5時～8時

場 所： 越谷コミュニティセンター4階「樺の間・桐の間」

越谷市南越谷1-2876-1 ☎ 048-985-1115

会 費： 1人 5,000円（当日ご用意ください）

講演会： 「町工場のおやじ～電気自動車に挑む～」

講 師： あっぱれ！EVプロジェクトリーダー・

（株）淀川製作所代表取締役 小倉 庸敬（おぐら のぶゆき）氏



部会報告 大宮盆栽美術館、こしがや能楽堂（花田苑）を視察研修

本年度の越谷流通団地運営協議会役員・部会委員の研修会は、日本人の「和の心」に触れる、「さいたま市大宮盆栽美術館」と越谷市にある和風庭園「花田苑」とそこに併設されている「日本文化伝承の館・こしがや能楽堂」を研修見学先に選んだ。11月20日の午後には役員・部会委員11名がバスで出発した。

まず、最初の見学先は、「大宮盆栽美術館」でした。江戸時代から明治・大正時代まで、現在の東京都文京区千駄木にある団子坂には、植木屋が集まって、菊人形づくりや盆栽業を営んでいたが、大正12年の関東大震災をキッカケに、より広い土地を求めて盆栽業者だけの村を作る構想に基づき造られたのが「大宮盆栽村」でした。現在の盆栽村周辺には、およそ10軒の盆栽園が営まれており、四季折々の散策が楽しめる観光地にもなっています。「盆栽美術」は日本の伝統文化で、さいたま市の伝統産業にも指定されており、盆栽の文化を広く内外に発信することを目的に、「さいたま市大宮盆栽美術館」が2010年に世界で初めての公立の「盆栽美術館」として開館しています。盆栽を中心に盆器、水石、絵画や歴史資料などが展示されており、学芸員の案内で盆栽の見方、誰が所有していたかなどいろいろ説明を受け、盆栽の知識を深めることができました。

次に、越谷に戻り、花田6丁目にある「花田苑（花田第六公園）」を見学しました。

越谷市の文化財指定を受けていた江戸時代の名主、大成町の宇田家の堂々とした長屋門を復元した風格のある姿が先ず目に入る。元々は畑であったこの地に、費用は10億円強ともいわれる純日本風の回遊式池泉庭園が、平成3年に造られ、園内には、桜52本、紅葉44本、黒松90本、あじさい90本、梅52本など約1万4千本の樹木が植林された。春の梅や桜に始まり、冬まで四季折々の花が楽しめる。見学した折は、見事な紅葉に彩られておりました。園内には、美しい木材の建物である「日本文化伝承の館・こしがや能楽堂」が併設されており、内部を見学することも出来ます。今回の視察研修で、埼玉の誇る「和の世界」に身近に触れることができ、驚きとともに有意義な研修になりました。皆様も機会があれば訪れてみては如何ですか。

会員の動き 『トータル包装システムライン』目指して「さくら工房」を新築・増設

～本社とさくら工場の道を桜並木へ～

■大森機械工業(株)

西方の貨物駅側、流通団地入口に包装業界のリーダー企業「大森機械工業株式会社」がある。当社は昭和59年に、東京都台東区から当流通団地に最初に移転してきた先駆的企業です。当社は、蓄肉加工品、インスタント食品、トレー入り食品、お菓子、医薬品など物流に欠かせない「包む」という作業をより強く・よりコンパクトに・より美しく・より清潔に・より新鮮に・より俊敏に機械で行なう可能性を追求し続けており、常に時代のニーズに対応した包装のトータルシステムを開発・提供する世界的な企業です。

このたび、本社横の道路向かいの駐車場として利用していた土地に「さくら工房」（土地3800㎡、4階建て延べ床面積7600㎡）を新築・増設し、平成24年12月に竣工しました。

さくら工房の建設コンセプトは、①エコロジーへの対応（LED照明を採用、ガスヒートポンプエアコンを導入、屋上を緑地化）②セキュリティ・ITの強化（カードキーによる入室管理システムを採用、全館無線LAN対応）③クリーンな環境（工場内のクリーンな環境を維持するために加工室を個室化して粉塵の飛散を防止）④災害対策（制震設備として油圧ダンパーシステム採用、建物の揺れを低減させる構造とし、ライフライン復旧までの非常食備蓄倉庫を完備、停電対策として非常用電源を設備、停電時にサーバーへの電源供給などが遮断されないよう考慮）⑤さくら工房として（本社とさくら工場の道を桜並木へ！本社を挟む道路沿いにさくらの木を約20本植え、春には両サイドに桜が満開になる予定）。



新会員紹介 新たに4社が入会しました よろしくお願ひします

- 若井産業(株)（建築金物卸売業 本社は東大阪市・2ブロックの流通団地3-1-9（旧）丹平中田(株)に入居）
- 大阪印刷インキ製造(株)（印刷インキ製造業 本社は大阪市・2ブロックの流通団地1-1-6（旧）関東塩業(株)に入居）
- (株)シーピーシー（家電部品製造販売 3ブロックの流通団地1-2-10（旧）(株)日直商会に入居）
- (株)シフレ（カバン・スーツケース等卸売業 10ブロックの西方上手2605（旧）(株)技報堂に入居）

編集後記 2013年の新年 明けましておめでとうございます！ 今年も流通団地のさまざまな情報をお届けしたいと考えていますので、会員の皆様のご投稿、ご協力よろしくお願ひいたします。 編集委員一同 印刷：JTB印刷(株)